

「経営の見える化ソリューション Scope eye」ログインへの DDS の多要素認証ソリューションの適用

株式会社ディー・ディー・エス
スタンシステム株式会社

1. 「経営の見える化ソリューション Scope eye」との連携

スタンシステム株式会社が提供する、企業経営・営業戦略に必要なあらゆる社内情報・顧客情報の一元化・可視化を支援する「経営の見える化ソリューション Scope eye」（以下、「Scope eye」と記述）のログイン認証機能と、DDSの認証ソリューション（「多要素認証基盤 EVE MA」、「万能認証基盤 Themis」、「二要素認証基盤 EVE FA」など、以下、「EVE MA」で記載）を組み合わせることで、利用者の運用における負担を最小限にし、なりすましや不正ログインを防ぎセキュリティを強化します。

適用に際しては、新たな API の組み込み開発や「Scope eye」への変更を行う必要は無く、EVE MA に付属する ID マネージャーに登録することで簡単に利用ができるようになり、これまで手入力していた ID・パスワードを ID マネージャーが代行入力するため、ユーザーは、EVE MA の認証をすることで、確実な本人確認を行い「Scope eye」へログインできるようになります。

2. 「Scope eye」について

「Scope eye」は、企業経営・営業戦略に必要なあらゆる社内情報・顧客情報の一元化・可視化を支援する、統合システムです。お客様の事業内容・戦略に合わせた柔軟なカスタマイズを可能とし、経営者の皆様が求められる機能を搭載しています。

企業内に増え続けるデータには、沢山の「宝」が隠れています。基幹システムの情報を分析・加工することで、各種経営管理情報をご提供することが可能となり、情報の利活用・戦略立案による、経営品質の向上が期待できるようになります。

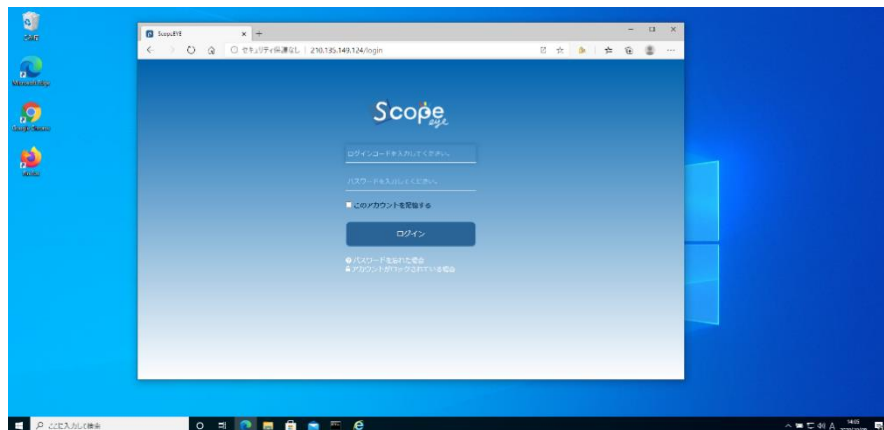
【連携製品 URL】

経営の見える化ソリューション Scope eye (<https://www.stansystem.co.jp/sol/scope>)

3. 登録 (EVE MA ID マネージャーへの登録)

(ア) 「Scope eye」の起動

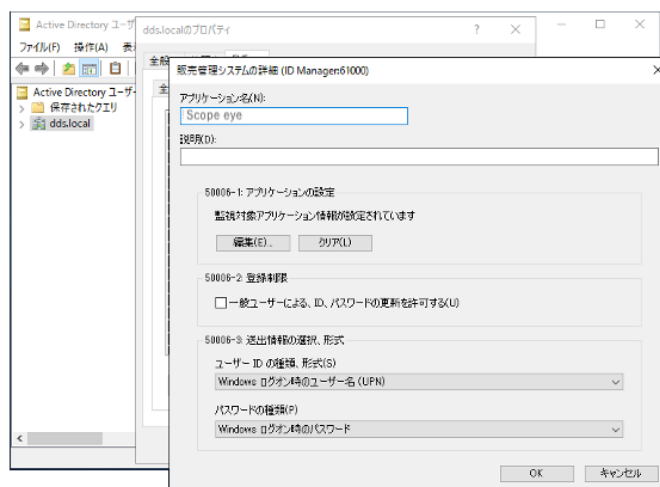
ブラウザ (※) を利用して「Scope eye」にアクセスします。



※ 利用ブラウザ：Internet Explorer 11、Chrome、Edge (Chromium版)、Firefox
本ドキュメントでは、Edgeを利用しています。

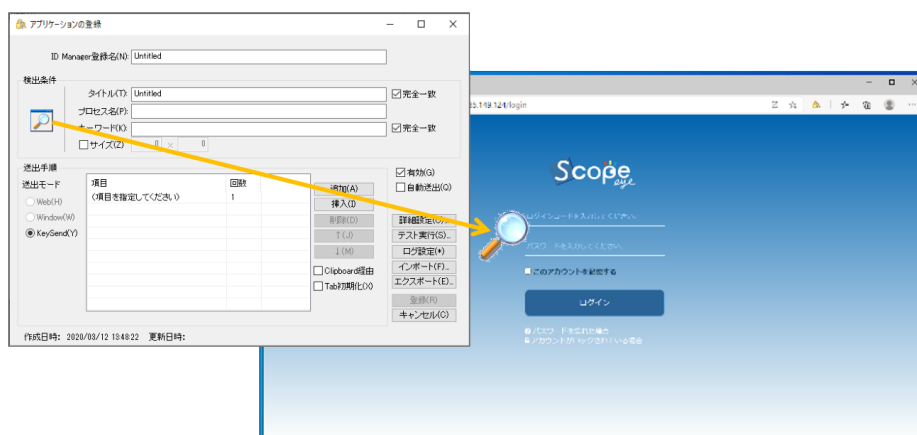
(イ) EVE MA ID マネージャー (アプリケーション) の登録

- ① EVE MA 管理ツールにログインしてドメインのプロパティを開き、[EVE] - [アプリケーション]を表示します。
- ② Windows上で動作する業務アプリケーションの設定を行います。
 - (i) 「[50006] ID Manager application plugin」を選択して[追加] ボタンをクリックします。[ID Manager アプリケーションの追加] 画面でアプリケーション名 (例：Scope eye) や説明を設定し、「Scope eye」を登録します。
 - (ii) [EVE] - [アプリケーション]から、上記で追加したアプリケーションを選択して、[詳細]ボタンをクリックし、アプリケーションの[詳細] 画面を表示します。



[ID Manager アプリケーションの追加] 画面

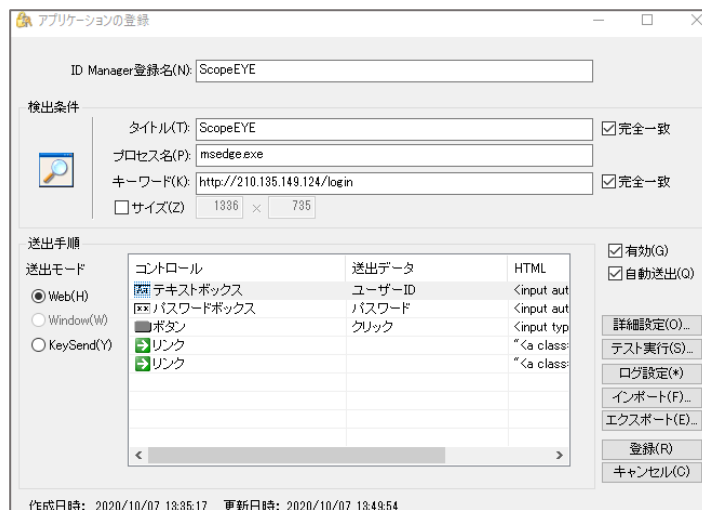
- (iii) [編集] ボタンをクリックし、[アプリケーションの登録] 画面を表示します。ここで、対象となるアプリケーションを登録するため、「Scope eye」のログイン画面にアクセスします。
- (iv) [アプリケーションの登録]画面で虫めがねアイコンをログイン画面にドラッグ&ドロップし、画面情報を取得します。



虫めがねアイコンを、「Scope eye」認証画面にドラッグ&ドロップ

(v) ログインに必要な情報を以下のように設定して[登録(R)]ボタンをクリックします。

- [テキストボックス]⇒[ユーザーID]
- [パスワードボックス]⇒[パスワード]
- [ボタン]⇒[クリック]



(vi) 利用者のログインに必要な情報は、CSVファイルを使ってインポートツールでインポートします。

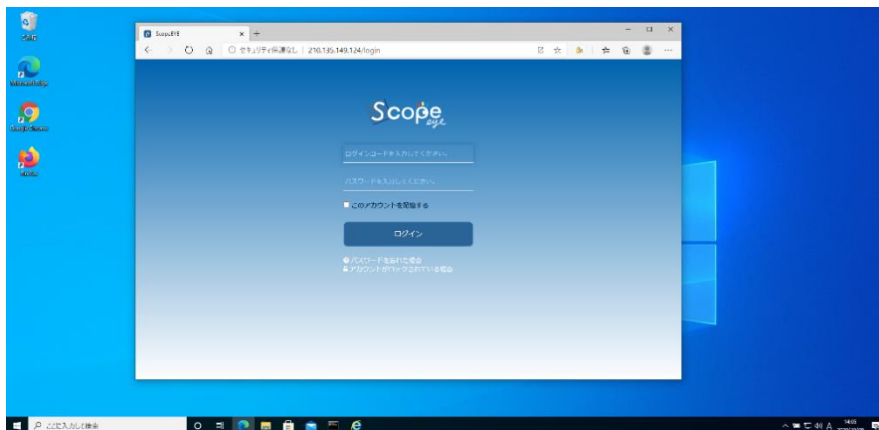
4. ログイン認証 (EVE MA 連携前・後)

(ア) 認証の流れ (EVE MA連携前)

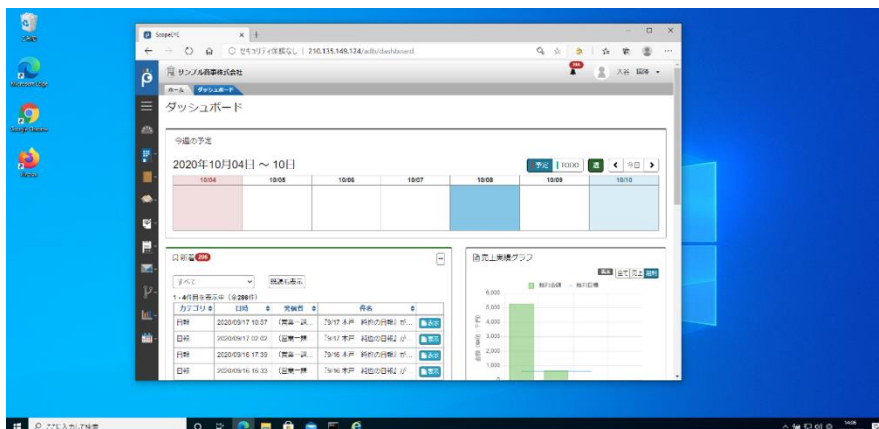
EVE MAとの連携前は、ログイン名とパスワードがあれば、確実な本人確認を伴うことなく利用することができます。

① 「Scope eye」へのログイン

- (i) ブラウザを起動し、「Scope eye」にアクセスします。表示された認証画面で、ID・パスワードを手入力します。



- (ii) 入力された情報が正しければ、アプリケーションにログインします。

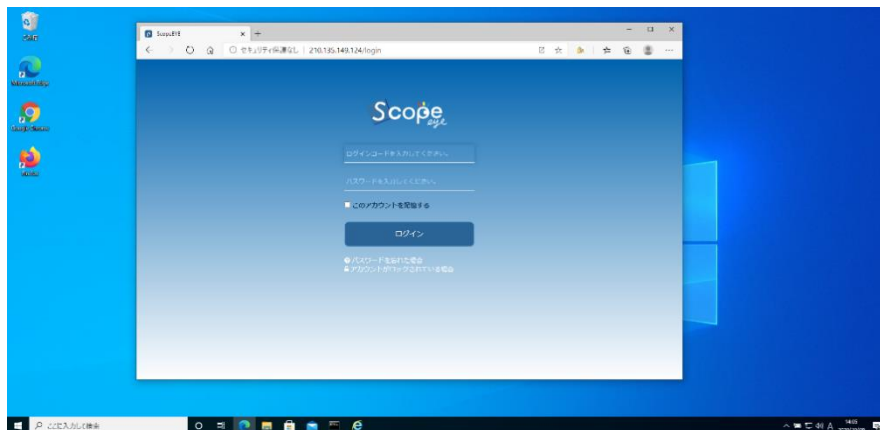


(イ) 認証の流れ (EVE MA連携後)

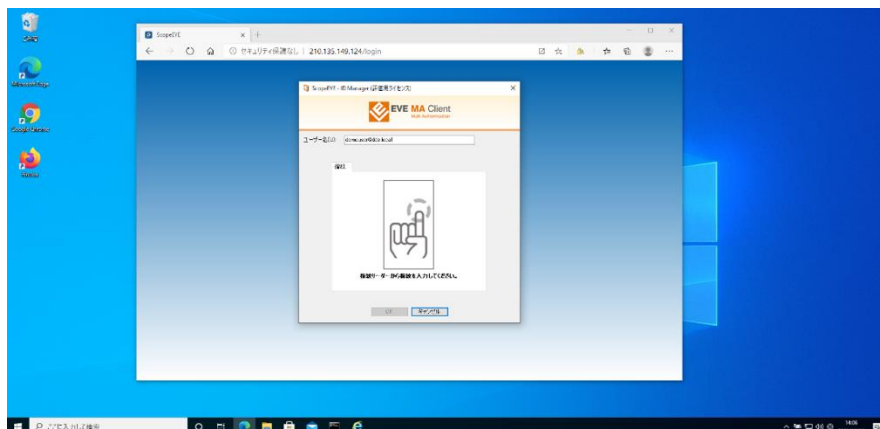
EVE MAとの連携後は、本人認証後にEVE MA IDマネージャーがパスワードを代行入力します。

① 「Scope eye」へのログイン

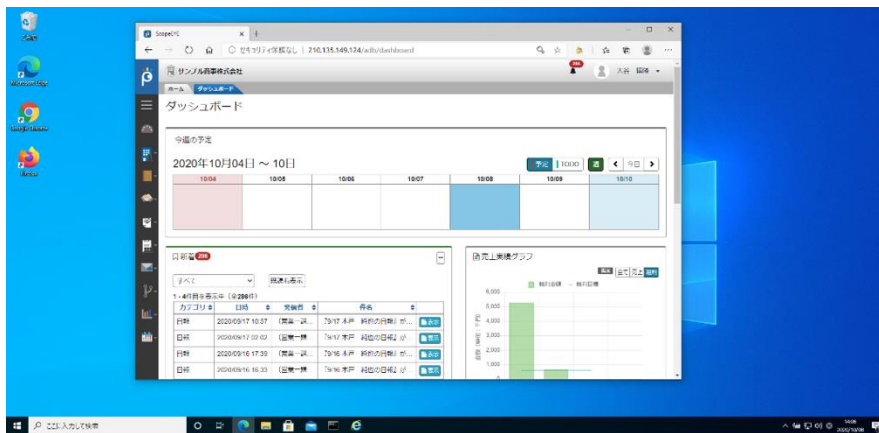
(i) ブラウザを起動し、「Scope eye」にアクセスします。



(ii) EVE MAの認証画面が表示されるので、指紋認証デバイスによる指紋認証やウェブカメラによる顔認証などを利用した二要素認証で本人確認を実施します。



- (iii) 本人認証成功後、EVE MA IDマネージャーが、ID・パスワードを代行入力し、アプリケーションへログインします。



※ 本資料に記載されているロゴ、会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

※ 導入をご検討の際は、弊社営業までお問い合わせください。